



お得なクーポン満載！  
川崎地区最強のホームページ とくぽん

- 東京新聞の記事
  - 社会 | 特報 | 政治
  - 国際 | 経済 | 核心
  - スポーツ | 放送芸能
  - TOKYO発

TOKYO発

カテゴリー一覧

- 地域の記事
  - 東京 | 神奈川
  - 千葉 | 埼玉 | 茨城
  - 栃木 | 群馬
- 政治モニター調査
- ニュース特集
  - 村上ファンド
  - トヨタの世界
  - ライブドア事件
  - 米国産牛肉問題
  - 耐震強度偽装
  - イラク情勢
  - 日朝問題
  - We love Tokyo
  - 孤独死を追う
  - 東京スピリット
  - 小泉首相の一日
  - 特集ライブラリー
  - 号外一覧
  - 首都圏高校入試
- 天災・人災
  - 東海地震
  - 追跡・三宅島災害
- 訃報

## 東京女子大 “自立のシンボル” 解体へ



東京女子大学（東京都杉並区）にある旧学生寮「東寮」が取り壊されることになった。築82年の近代モダニズム建築。全国初の女子個室寮を「魂のよりどころ」とする“トンジョ”OGも。「トンジョの歴史や伝統を伝えるためにも残してほしい」という声が上がっている。

緑豊かな東京女子大キャンパス。特に旧東寮がある一帯はうっそうとした森のよう。一見して地味な建物は、夏休み前の試験中とあって静かな雰囲気に包まれていた。

### 取り壊される計画の東京女子大の旧東寮（5号館）。古く見えないモダンな外観＝東京都杉並区の東京女子大で

旧東寮は大学創立六年後の一九二四（大正十三）年に、移転後の同大の建物の中で最初に建てられた。鉄筋コンクリート造りの学生寮としては国内の先駆け。初代学長の新渡戸稲造の「一日一度は一人になって瞑想（めいそう）し、内省すること、祈ること」との教えから、国内では初めての女子個室寮になったという。二階建てで、当初は三畳の“ワンルーム”が百二室あった。

設計は、モダニズム建築の作品を多く残し、日本人建築家にも影響を与えたチェコ出身の建築家アントニン・レーモンド。建築史的にも貴重という。

同時に西寮も建設され、東西寮と呼ばれた。しかし、老朽化のため一九八四（昭和五十九）年に閉鎖。西寮は壊されたが、寮生らの強い希望で旧東寮だけが残された。現在は「5号館」としてサークルの部室として使われ、二階の一室だけが、当時のまま保存されている。

旧東寮の保存・活用を訴える同窓生グループ「東京女子大学卒業生有志の会」の代表で、ジャーナリストの藤原房子さん（五三年卒）は旧東寮で五年間を過ごした。

寮では学年や学部もごちゃ混ぜで約百人が住み、清掃や食事当番などを分担。生活習慣も違えば方言も飛び交う。福井市出身の藤原さんは「方言はばかにされるから、今思えば変な東京弁を使ったけど、それがまたおかしくて」と懐かしむ。

また、十人一組の「列」というグループがあり、列会では、部屋に十人がぎゅうぎゅう詰めで集まって議論し、歌った。食糧難の時代だったが、この日は実家などから食料を持ち寄り、おなかいっぱい食べられるため、楽しみの一つだった。

藤原さんにとって、寮での体験は「女性の自立」という建学の精神を反映していたとの思いもある。「我慢して、けんかして、時にははしゃいで。そうやって生きることを学んだ場所。建物の外枠だけでも残してほしい」と望む。

有志の会の田辺道子さん（六六年卒）は「東寮の価値を知ること、東女の伝統や魅力が再認識されれば」と話す。女子教育が重視されていなかった時代に、個の確立や自治をはぐくもうとした先進性。「女性の自立」こそ創立時の理念と考える田辺さんも「建学の精神を表す建物は、壊したら二度と造れない」と訴える。

「魂のよりどころ」「東女のシンボル」と惜しむ声に加え、「新渡戸稲造記念館にできないか」などの提案も出てきた。

大学は、二年後の創立九十周年に合わせ、跡地に新体育館を造るなどキャンパス整備を計画。旧東寮の解体は年明け以降に始まるという。桃井明男事務局長は「築後八十年以上がたち限界。安全を確保するため解体する。

- 論説
  - 社説 | 筆洗
  - 私説 | 論説室から

- スポーツ
  - F1 EXPRESS
  - ドラゴンズ
  - プロ野球速報
  - グランパス

- 国際
  - 世界の街から
  - 新世界事情

- 生活
  - 暮らし
  - 健康

- 文化・教養
  - 大図解
  - 科学
  - みんなのデジタル
  - NIE 教育に新聞を
  - こどもタイムズ
  - 伝統文化・名流
  - 土曜訪問
  - ハローベッ
  - 囲碁・将棋
  - 第47期 王位戦

● 首都圏

名湯めぐり  
味な老舗  
かながわはてな  
続・渡良瀬有情

保存を願う気持ちは分かるが、現役学生やこれから入学する若者にとって、魅力あるキャンパスを整えることも必要」と説明する。

現役学生の反応もさまざま。ある学生は「5号館と言われても、どの建物？という感じ」と関心がない様子。一方、文理学部の二年生は「見るからに歴史があって、なくなるのは残念。古くて不便なところもあるけど、それも趣があるかな」と笑った。

● 読者コーナー

発言  
政治ホットライン

有志の会で事務局を務める井上まゆみさん（七四年卒）は「施設の規模で他大学と競っていくのは難しい。東女にしかない精神で勝負してほしい。東寮はそれを象徴する建物なのです」と話した。

文・井上仁／写真・中西祥子

◆紙面へのご意見、ご要望は「t-hatsu@tokyo-np.co.jp」へ。

● JWN

北海道新聞  
河北新報  
新潟日報  
神戸新聞  
中国新聞  
西日本新聞

● 新聞協会

● ニュースサイト

● 情報サイト

◆ 当日記事一覧

ご質問・お問い合わせ - 著作権 - 個人情報 - リンク

Copyright (C)The Chunichi Shimbun, All Rights Reserved.

本ページ内に掲載の記事・写真などの一切の無断転載を禁じます

● 川崎情報満載！

● ゆめぼっけ

● イベント

美術 | 舞踊・芸能  
スポーツ | 教養

● フォーラム

● カルチャー

● クッキング指南

● 山のサイト

岳人 | 山ある記  
山のニュース

● 東京新聞の本

● 中日新聞の本

● 東京新聞だより

中日ネット  
中日産業技術賞  
販売局のページ  
東京新聞奨学会  
広告局のページ  
つれづれ日記